

地域で活動しています！

●問い合わせ 地域づくり課

(東庁舎4階) ☎34-3280 ☒34-0400

◆地域づくりインターンシップ戦略事業とは

地域づくりへの若者の参加による活性化と人材育成を目的に、松本大学と協働して実施しています。

松本大学の卒業生が、松本大学地域総合研究センターの特別調査研究員として、大学での専門教育を受けながら、地域に入って活動しています。今年度から2期生として、



▲毎週、大学で教授から指導を受けています。

芳川地区、新村地区で活動している2人のインターン生の活動を紹介します。

食を通じた地域づくり

伊藤 実沙子さん

大学卒業後、東京で栄養士として働いていました。学生時代は地域活動に関わる機会が多く、地元で働きたいという気持ちが強くあり、1年前に、地元松本に戻ってきました。現在は、前職の知識やスキルを生かして「食」を通して地域に貢献したいと考えて活動しています。

芳川地区は、「地区で子どもを育てる」という文化が根付いていて、私も地区にいる大人の一人として、関わっていきたくと考えています。今年度は、食の楽しさを伝えるということで、「キッズクッキング」を企画し、これ

までに2回開催しました。子どもたちからは、大学生と一緒に料理できて楽しかったなどの感想をもらいました。

今後は、子どもだけに限定せずに、シニア世代に向けての企画も考えています。一例として、飲み込みやすく、スパーなどで売っているお惣菜を使った簡単調理や、食を通じた世代間交流です。そし



▲キッズクッキング

て、他地区で活動しているインターン生と連携して、食とそれぞれの強みを生かした企画も行っていきたいと思っています。

防災を通して地域を見つめる

一色 美月さん

松本大学がある新村地区で主に地区防災に関する活動を行っています。自主防災連合会の活動で、地区内に伏在断層が通っていることを知りました。高齢化率が高い地区のため、災害時の対応が課題だと感じています。また、平日の昼間には地区内に多くの学生がいることから、地域と大学の連携が期待されています。今年度は、大学生が無線機を携帯して町会の一時集合場所へ安否確認に向かう訓練や、被災地で炊き出しの支援をしている方の講演、自主防災連合会役員を中心に避難所設営基礎訓練や炊き出し訓練が行われました。この訓練では、自主防災連合会の皆さんと訓練の計画を立て、調整をしてきました。

来年度は、指定避難所の松本大学で、避難所設営訓練を

インターン1期生の主な活動

濱 由佳子さん (中央地区)	下町会館で、住民同士が交流でき、誰もが集える「憩いの居場所づくり」をしています。
塚原 有香さん (鎌田地区)	地区の魅力をもっと知ってもらいたいと考え、地区の魅力を再発見するお宝発掘事業を企画しています。
岩垂 綾さん (入山辺地区)	規格外の農産物の有効活用として野菜市等の開催や、地域資源の魅力を地区内外に発信しています。
丸山 裕也さん (四賀地区)	地区の協議会等へ参加し、移住者との交流を図るワークショップの企画に取り組んでいます。
松本 尚子さん (奈川地区)	エゴマ等を活用した特産品のブランド化等に取り組み、生活を支える農業と福祉を中心とした活動をしています。



▲炊き出し班のパッククッキング

行う予定です。今後も、大学と地域との連携を図るパイプとして、活動の幅を広げていきたいと思っています。